



白丸保育所 男3人・女3人 計6人

勉強
遊び
友だち
先生



ひばり保育所 男8人・女7人 計15人



鶴川保育所 男8人・女8人 計16人



神野保育所 男2人・女1人 計3人



瑞穂保育所 男1人・女2人 計3人



柳田保育所 男6人・女9人 計15人



高倉保育所 男4人・女5人 計9人

ランドセルに夢と希望を詰め込んで...



内浦保育所
男4人・女7人 計11人



しらさぎ保育所
男12人・女16人 計28人



松波保育園 男10人・女6人 計16人



小木保育園 男9人・女9人 計18人



上町保育所 男5人・女7人 計12人

一年生になったら。。。。

※個人情報保護のため、園児の名前は記載してありません。

春
の
な
つ
た
ら
一
年
生

スポーツ賞(個人)・スポーツ奨励賞(個人) 受賞者のみなさん



たんぼ
がんぼ
ました

スポーツ賞(個人)

- 菊田 裕子(早稲田大学) ウェイトリフティング 世界選手権大会 15位
- 佐々木美和(宇出津小学校) ソフトテニス大会 優勝
- 山瀬 侑希(宇出津小学校) ソフトテニス大会 優勝
- 寺下 洸平(鶴川小学校) ソフトテニス大会 準優勝
- 濱高 彰仁(鶴川小学校) ソフトテニス大会 準優勝
- 西 なつみ(柳田中学校) 第36回ジュニアオリンピック陸上競技大会(100mH) 優勝
- 釣谷 祐太(鶴川中学校) 第16回都道府県対抗全日本中学校ソフトテニス大会 準優勝
- 善野 功太(鶴川中学校) 第16回都道府県対抗全日本中学校ソフトテニス大会 準優勝
- 谷内 智裕(鶴川中学校) 第16回都道府県対抗全日本中学校ソフトテニス大会 準優勝
- 寺下 将司(鶴川中学校) 第16回都道府県対抗全日本中学校ソフトテニス大会 準優勝
- 新平 浩之(明治大学) 第38回全日本学生選抜ソフトテニスインドア選手権大会 優勝
- 木村 優里(瑞穂小学校) 第22回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 準優勝

スポーツ奨励賞(個人)

- 橋本 麻衣(瑞穂小学校) 第22回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 準優勝
- 中野 綾(真脇小学校) 第22回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 準優勝
- 河村 奈々(宇出津小学校) 第22回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 準優勝
- 川原智恵子(日本体育大学) 第59回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会 準優勝
- 仙福 剛悠(高田商業高校) 平成17年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 優勝
- 大屋 健一(瑞穂小学校) 第5回石川県小学生学年別ソフトテニスインドア大会 優勝
- 清水 寛生(瑞穂小学校) 第5回石川県小学生学年別ソフトテニスインドア大会 優勝
- 橋本 遥(瑞穂小学校) 第8回石川県小学生学年別ソフトテニス大会 優勝
- 中田依緒里(瑞穂小学校) 第8回石川県小学生学年別ソフトテニス大会 優勝
- 石田 元基(柳田小学校) 第2回石川県小学生クロスカントリー大会 優勝
- 宮本 晃介(柳田小学校) 第2回石川県小学生クロスカントリー大会 優勝
- 二田早智子(現・能都中学校) 第6回北信越小学生ソフトテニスインドア大会 優勝

- 谷内 萌(現・能都中学校) 第6回北信越小学生ソフトテニスインドア大会 優勝
- 佐々木真子(現・能都中学校) 第6回北信越小学生ソフトテニスインドア大会 準優勝
- 寺越由紀子(現・能都中学校) 第6回北信越小学生ソフトテニスインドア大会 準優勝
- 野口 茉衣(能都中学校) 第24回石川県中学校選抜ソフトテニス大会 優勝
- 岡橋 彩花(能都中学校) 石川県中学校体育大会 優勝
- 藤本 優香(能都中学校) 第26回北信越中学校総合競技大会ソフトテニス競技 優勝
- 田中 千晶(能都中学校) 第26回北信越中学校総合競技大会ソフトテニス競技 優勝
- 堂野 真澄(能都中学校) 第57回県中学校陸上競技大会【男子共通走幅跳】 優勝
- 堂野 博樹(能都中学校) 第51回全日本中学校通信陸上競技石川県大会【男子共通400m】 優勝
- 室峰 歩(松波中学校) 第57回県中学校陸上競技大会【女子砲丸投】 優勝
- 佐小田成人(柳田中学校) 第57回県中学校陸上競技大会【男子共通棒高跳】 優勝
- 池崎千佳子(柳田中学校) 第60回国民体育大会陸上競技石川県予選会【女子共通棒高跳】 優勝

- 佐小田孝一(珠洲実業高校) 第58回石川県高等学校陸上競技対校選手権大会【男子棒高跳】 優勝
- 浜野 洋平(能都北辰高校) 第45回石川県高校相撲田鶴浜大会 優勝
- 田中 舞(能登青翔高校) 平成17年度高等学校総合体育大会アーチエリート競技 優勝
- 池田 浩太(能登青翔高校) 第21回北信越室内大会アーチエリート競技 優勝
- 菊田 泰子(飯田高校) 第33回北信越高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会 準優勝
- 谷上 蛸(飯田高校) 第33回北信越高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会 優勝
- 夏畑 葵(飯田高校) 第47回石川県高等学校新人陸上競技大会【女子砲丸投】 優勝
- 久山 毅(金沢市立工業高校) 第56回石川県高等学校相撲新人大大会 優勝
- 竹内 志津(神宮松蔭女子学院大学) 第17回関西学生ソフトテニス選手権大会 優勝
- 谷内 琢哉(富山大学) 第100回北信越学生ソフトテニス選手権大会 準優勝
- 菊田 克己(能登町WL協会) 第10回北信越社会人大会ウエイトリフティング競技選手権大会 優勝
- 干場 大輔(能登町WL協会) 第10回北信越社会人大会ウエイトリフティング競技選手権大会 優勝
- 小松 昌伸(能登町空手道協会) 第3回北信越空手道選手権大会 優勝

- 矢形 優(能都北辰高校) 第60回国民体育大会秋季大会陸上競技やり投げ 5位
- 寺下 隆浩(東洋大学) 第60回国民体育大会秋季大会相撲競技出場
- 寺下 祐樹(金沢市立工業高校) 第60回国民体育大会秋季大会相撲競技出場
- 坂下 昭徳(能登町相撲連盟) 第60回国民体育大会秋季大会相撲競技出場
- 紅屋 春美(金沢学院東高校) 第60回国民体育大会秋季大会ソフトテニス競技出場
- 矢波 千早(能都北辰高校) 第60回国民体育大会秋季大会ソフトテニス競技出場
- 畠中 歩美(能都北辰高校) 第60回国民体育大会秋季大会ソフトテニス競技出場
- 大向 真人(能都北辰高校) 第60回国民体育大会秋季大会ソフトテニス競技出場
- 森田 裕庫(能登町WL協会) 第60回国民体育大会秋季大会バスケットボール競技出場
- 田代 港輝(金沢高校) 平成17年度石川県高等学校総合体育大会バスケットボール競技優勝
- 松岡 憲秀(金沢高校) 平成17年度石川県高等学校総合体育大会バスケットボール競技優勝

水元 綾(津幡高校)
スポーツ奨励賞(団体)

- 小水ミニバスケットボールクラブ(小木小学校17人) 第14回北陸電力ふれあいカップミニバスケットボール大会 優勝
- 小木クラブ(小木小学校14人) 第2回北國新聞杯石川県少年少女ドッジボール大会 優勝
- 九十九クラブ(小木小学校12人) 第2回北國新聞杯石川県少年少女ドッジボール大会 優勝
- 鶴川中学校男子ソフトテニス部 第26回北信越中学校総合競技大会ソフトテニス競技 優勝
- 能都中学校女子ソフトテニス部 第18回北信越中学生インドアソフトテニス大会 優勝
- 石川県中学校体育大会 第55回ソフトテニス大会 優勝
- 能都北辰高校女子ソフトテニス部 石川県高等学校ソフトテニス選手権大会 優勝
- 能登青翔高校アーチエリート部 石川県高等学校新人大会アーチエリート競技 優勝
- 能登町ソフトテニス協会女子 第57回石川県民体育大会ソフトテニス競技 優勝
- 能登町ウエイトリフティング協会 第10回北信越社会人大会ウエイトリフティング競技選手権大会 準優勝



スポーツ奨励賞(団体) 受賞者のみなさん

■受入日
月曜日～土曜日
午前8時30分～午後5時
※直接搬入（有料）については事前申込が必要

■住所 上町字7番地

■問い合わせ ☎ 62-8222
FAX 62-8223

■ホームページ
<http://www.yanagida.ne.jp/okunotoclean/>



今回は平成15年3月に完成し、ボクたちの町から出るごみの受け入れをしている奥能登クリーンセンターを紹介するよ！

リサイクルプラザ

ここは、みんなの家から分別されて収集されたカンやペットボトル、ビン、新聞紙などをリサイクルするための施設なんだよ。ビンや新聞紙はみんなの家で分別された状態のまま、大きなコンテナに入れてしばらく保管するんだ。ビンに金属のフタがついたままだったり、新聞紙にチラシが入ってるとリサイクルするときの価値が下がっちゃうんだって。リサイクルはみんなの家の分別がスタートなんだね！



ちぎって分別してあげるからね！

みんなカンやペットボトルはちゃんと水をゆすいでから出して？これらはベルトコンベアにのせて最終的には、人の手と目によって不純物を取り除いているんだよ。「1個ぐらい混ぜても平気だろう」とって違うものを入れてごみに出すと、町全体のごみを集めたときには大変な量になるんだ。



そつそつ、みんなキャップもちゃんとはずして？ペットボトルはリサイクルできるけど、プラスチックのキャップは燃えるごみ。ビンのフタも埋立ごみのものが多いよね。カンやペットボトルは機械で圧縮するからフタがついたままじゃ、破裂したりして上手く処理できないんだよ。忘れずにはずさうね！



これがカン

これがペットボトル

ごみ固形燃料化施設



リサイクルプラザ

「グリーンセンター」ってどんなところ？

管理棟

ごみ固形燃料化施設

これはRDFだよ
ここは一般可燃ごみを燃やせずにRDFという固形燃料にする施設なんだ！集められたごみはベルトコンベアにのせて色んな処理をされるんだけど、衣類やひもなどが分別されずに入っていると、機械に絡まって止まったり故障したりするんだって。だから「布ひも類」だけは、前処理をしてからベルトコンベアにのせるんだよ。



機械を止める一番の原因はストッキングなんだって！



布ひも類だけ先に裁断中！

そのあと他のごみと一緒にさらに細かく砕いてから、450度の熱風で乾燥するんだ。最後に不純物を取り除いて機械で圧縮すると、ちよつと太めのチヨクみたいなRDFの完成！できあがったRDFは、志賀町にある石川北部RDFセンターに運ばれて、ダイオキシンが出ないように高温で焼却されるよ。発電のエネルギーにしたり、灰はコンクリート製品などの材料になるんだって。ごみが色んな資源に変身するんだね！

管理棟

この管理棟では、まだまだ使えそうな自転車やタンス、スキー板などを販売するリサイクルフェアを開いたり、牛乳パックからハガキを作るリサイクル工作が体験できるんだ！ほかにガラスに好きな絵や模様をつけるサンドブラストや、ガラスを溶かしてペンダントやストラップを作るバーナーワークもできるんだって。みんなも一度体験してみたら？

ここにはリサイクル図書室もあって、いらなくなった古本を保管したり自由に閲覧することもできるんだ。小説や辞書などもあって、好きな本があればゆずってくれるんだよ。

ボクの欲しい本ないかなあ～



奥能登クリーン組合事務局長 高雅彦さん



Q この施設のいいところは？

環境にやさしい施設だということですね。クリーンセンターは『蔵』をイメージして造られているんですよ。ここはごみが資源へと生まれ変わる施設です。つまり、大切な宝物を入れる『蔵』という気持ちを込めて造られたものなんです。しっかりと分別したものは、きれいにリサイクルできます。施設内を見学することもできますので、この施設のいいところをより多くの方々に理解していただければと思います。



大人になるということ

▶みんなの想いを受けて誓いの言葉を述べた西山くん



志を立て、自分が望む未来に向かって努力すること
を誓う「立志の集い」が2月7日、能都庁舎で行われ町内の中学2年生205人が出席しました。生徒を代表して西山卓哉くん（能都中学校）が「自分の甘えを捨て、ひとりの人間として成長していきたい」と力強く宣言しました。式典後には「エイズ時代に生きる」をテーマに記念講演会が開かれました。講師の立中由加里さんは思春期時代の大切さなどについて話し「自分自身の心をコントロールする重要さと、本物の愛には責任という意味があることを忘れないで欲しい」と集まった生徒たちにメッセージを送りました。

旭日単光章を伝達

▶伝達式に出席した松波さん（左）と松井さん（右）



永年にわたり議会議員を務め、地方自治に貢献した故・松波要作さん（宇出津・享年80歳）と松井政雄さん（上長尾・88歳）の二人が「旭日単光章」を受章し、2月6日に能都庁舎で伝達式が行われました。持木町長から勲記と勲章が手渡されたあと、16年11カ月在職したご主人の代理として、息子の高瀬亨さんと共に出席した松波初枝さんは「仏前にこのたびの喜びを伝えました」と話していました。また、3期12年在職された松井さんは「予想もしていなかったのが驚きでしたが、光栄に思います」と在職当時を振り返りながら受章の喜びを語っていました。

豊漁と海の安全を祈願する「起舟」

起舟は、旧暦の正月にあたる2月11日に行われます。起舟は舟の仕事始めを意味し、昔は正月前後に休漁し、浜に引き揚げうつぶせにしていた舟を起こして漁に出ていたことが語源といわれています。

七見地区の中田さん宅では、乗組員や親戚、地域の人たちが集まり、



▲新鮮な鱈鍋やアンコウ鍋は網元ならではのものです

金比羅様が祭られている神棚にむかって神事が行われました。神事で今年1年の豊漁と安全を祈願した後は、新鮮な鱈やアンコウなどの料理が振る舞われます。

またこの日は、漁船に大漁旗を掲げます。各地の港では色とりどりの大漁旗が掲げられ、港町らしい風情が感じられました。



◀大漁旗を掲げる漁船。宇出津港では、明治の終わりまで起舟の日に「舟競べ」と呼ばれる伝統行事があったそうです

自分の命は自分で守る！

▶全老人クラブが達成した無事故運動。これからも無事故を続けてください



高齢者無事故運動の表彰式が1月31日に能登警察署で行われました。町内35の老人クラブ1,662人全員が昨年4月から10月までの7カ月間にわたり無事故を達成し、能都地区、柳田地区、内浦地区の代表が野竹能登警察署長から「無事故達成の証」を受け取りました。野竹署長は、「交通事故に遭わない、起こさないよう老人クラブでの気運を高めてください」と挨拶しました。

また2月7日には、町や交通安全機関、高齢者団体が連携して事故防止に取り組む「能登町高齢者交通安全事故防止連絡会」が組織されました。

春からは自衛官として

▶自衛隊父兄会長の出島健二さんから激励を受ける入隊予定者



自衛隊入隊予定者激励会が、2月15日に役場能都庁舎で行われ、5人の入隊予定者が激励を受けました。持木町長が「国を守る、国民を守るという立場でがんばってください」と激励し、入隊者代表の少橋さんは「国民の安全を守る自衛官の一員として立派に活躍できるよう努力します」と決意を述べました。

この春、能登町から自衛隊へ入隊を予定しているのは、少橋拓也さん（布浦）、前田一孝さん（柳田）、紺谷亮太さん（宇出津）、水元清也さん（崎山）、松谷知美さん（五郎左工門分）の5人で、すべて陸上自衛隊に入隊予定となっています。

能登の未来のための「みちづくり」を考える

能登の「奥」から考える「みちづくりフォーラム」が2月4日に空港交流センターで行われ、奥能登各市町から約1,500人が集まりました。このフォーラムは、今後の奥能登の発展を願い、地域住民が一丸となって「地方の声」を中央に発信することなどを目的に開催されました。

来賓には国会議員や県議会議員、国土交通省道路局の室長などが招かれ、北村茂男衆議院議員は「奥能登地域の道路に対する強い想いを中央に届け、よりよいみちづくりにつなげていきましょう」と挨拶しました。また、基調講演では(株)加賀屋代表取締役会長の小田禎彦さんが「みちと観光交流」と題して講演を行いました。このあと行われたパネルディスカッションでは、奥能登各地でまちづくりに活躍している4人がパネリストとして登場し、未来に向けてのみちづくりなどのテーマについて議論しました。能都町商工会会長として参加した数馬嘉雄さんは、「能登町は合併して地域の連携が大切な時期。主要道路の整備をお願いしたい」と道路整備を訴えました。

